



nifty.com/hospace/
のホームページも見てね。
にも書き込んで下さい。
メール)のダウンロードもできます。

SSKS



ほっと

「ほっとスペース八王子」ニュース

2007年6月27日発行

117号

定価 100円

発 郵 E ホ F 電 編
行 便 - m A 集
振 Mail - i X 話 人
所 替 i

八王子市八幡町一三一〇ふくしまビル二階
「ほっとスペース八王子」代表 堀部 正
〇四二一六二八二一
〇四二一六二八二二
〇四二一六二八二三
〇四二一六二八二四
〇四二一六二八二五
〇四二一六二八二六
〇四二一六二八二七
〇四二一六二八二八
〇四二一六二八二九
〇四二一六二八三〇
〇四二一六二八三一
〇四二一六二八三二
〇四二一六二八三三
〇四二一六二八三四
〇四二一六二八三五
〇四二一六二八三六
〇四二一六二八三七
〇四二一六二八三八
〇四二一六二八三九
〇四二一六二八四〇
〇四二一六二八四一
〇四二一六二八四二
〇四二一六二八四三
〇四二一六二八四四
〇四二一六二八四五
〇四二一六二八四六
〇四二一六二八四七
〇四二一六二八四八
〇四二一六二八四九
〇四二一六二八五〇
〇四二一六二八五一
〇四二一六二八五二
〇四二一六二八五三
〇四二一六二八五四
〇四二一六二八五五
〇四二一六二八五六
〇四二一六二八五七
〇四二一六二八五八
〇四二一六二八五九
〇四二一六二八六〇
〇四二一六二八六一
〇四二一六二八六二
〇四二一六二八六三
〇四二一六二八六四
〇四二一六二八六五
〇四二一六二八六六
〇四二一六二八六七
〇四二一六二八六八
〇四二一六二八六九
〇四二一六二八七〇
〇四二一六二八七一
〇四二一六二八七二
〇四二一六二八七三
〇四二一六二八七四
〇四二一六二八七五
〇四二一六二八七六
〇四二一六二八七七
〇四二一六二八七八
〇四二一六二八七九
〇四二一六二八八〇
〇四二一六二八八一
〇四二一六二八八二
〇四二一六二八八三
〇四二一六二八八四
〇四二一六二八八五
〇四二一六二八八六
〇四二一六二八八七
〇四二一六二八八八
〇四二一六二八八九
〇四二一六二八九〇
〇四二一六二八九一
〇四二一六二八九二
〇四二一六二八九三
〇四二一六二八九四
〇四二一六二八九五
〇四二一六二八九六
〇四二一六二八九七
〇四二一六二八九八
〇四二一六二八九九
〇四二一六二九〇〇
〇四二一六二九〇〇

http://homepage.nifty.com/hospace/
CXB01672@nifty.ne.jp
世田谷区砦六二六二二
〇〇一八〇〇七六二四六「ほっとスペース八王子」
障害者団体定期刊行物協会

目次

特集「第14回定期総会」

代表挨拶	1頁
今年も「障害者自立支援法」反対運動を続けよう	2頁
総会に参加して/盛り上がった交流会/運営委員立候補	3頁
定期総会参加報告/交流会	4頁

特集 自立支援法撤廃、君が代今日制反対、国民投票法反対行動に参加して

自立支援法撤廃・厚生労働省前抗議集会/	6頁
日の丸・君が代強制反対/南多摩高ピラマキ/	8頁
国民投票法反対国会行動/	9頁

特集 自立支援プログラム紹介 ～こんなに楽しかったよ～

ニューイヤーコンサート/楽しかった料理教室	10～11頁
ふれあいトーク/日帰り(勝沼)旅行/	12～13頁
井田さん 井かちゃんご結婚おめでとう	14～15頁
香華朗読/花見会/プロレス観戦記	17頁

自閉症児転落事故損害賠償請求裁判傍聴記	18頁
3/18イラク反戦集会に参加して	19頁
外登法・入管法反対関西交流集会に参加して	20頁
ゴールデンウィーク活動報告	21頁
書評「強きちり狩り」/新職員(非常勤)紹介	22頁
編集後記/映画評論	23頁
映画評論「ロマンダンテ」/編集後記	24頁

特集：第18回2007年度定期総会

あくまで「障害者自立支援法」撤廃を追求する！

新しい年度になって初めての「ほっと」ニュースです。発行が遅くなりまして、申し訳ありません。5年勤続のベテラン職員が昨年十二月に退職して、事務など細々した作業に忙殺されて遅れてしまっただというのはい訳になりません。「ほっとスペース八王子」にも「障害者自立支援法」の影響がこつこつ出てきています。

「障害者自立支援法」が格格的に施行された昨年十月から八ヶ月にもなります。施設によつては通所している我々「精神病者」のことを本当に考えているのかと疑ってしましますが、新体系に早々と移行している気の早い施設もあります。あくまで新体系に移行し、就労移行支援事業や最低賃金をクリアする就労継続A型事業であれば、我々はそこに通う「精神病者」の仲間地域の労働組合に加盟することを訴えます。「ほっとスペース

八王子」の職員も二年前に地域労働組合を結成し、労働組合運動を進めています。都内全域をカバーするつもりがありますので、ぜひ、多摩一般労働組合に施設の職員ならびに「精神病者」の仲間は加盟することを訴えます。

労働条件の劣悪な施設は改善させるべく労働組合として団体交渉を申し入れていきます。もとより労働法制を遵守できない施設は潰れて当たり前だし、我々「精神病者」の労働条件を改善する努力が出来ない施設は潰れていきます。存在している意味がないからです。「障害者自立支援法」下で就労移行支援事業、就労継続A型事業を行う施設で働く我々「精神病者」は労働基準法第九条で定義された労働者として考えるのが当たり前なので、我々「精神病者」はあくまでも労働者としての権利を要求していくのは当たり前だし、そういう労働者としての意識を芽生えさせるのが就労移行支援施設の役割だと考えています。

「ほっとスペース八王子」は実際に就労するか否かに関係なく、「精神病者」差別社会で生きていくために人間として必要な資質(おかしなことはおかしいと言え、人間としての当たり前の権利を主張できるなど)を身につけるための運営を他の授産施設や共同作業所のみならずといっしょに進めてきたつもりです。「障害者自立支援法」が施行されたことで、その当たり前の運営が出来なくなつた施設はそもそも我々「精神病者」のた

めの施設として存在する理由も失っています。「障害者自立支援法」ではその当たり前の運営を進めていくことが出来ないからこそ「ほっとスペース八王子」は撤廃を求めて運動を進めているのです。「障害者自立支援法」などの「精神病者」差別法を制定する国の悪政に我々「精神病者」を従わせようとしたら、そもそも「障害者自立支援法」撤廃運動に我々「精神病者」を組織できない施設は潰れて当たり前だと思えます。移行するかどうかの期限はあと4年。出来る限り我々「精神病者」は「障害者自立支援法」撤廃を追究し、その取り組みの中で力を身につけ、逞しく育って生きたいと思っています。



発言する堀部代表

特集：第18回2007年度定期総会

●今年も「障害者自立支援法」反対運動を続けよう

運営委員長 植松 恵樹

一昨年からの全国の障害者施設関係者などの反対運動によって、政府は補正予算を組むなど一定の“配慮”を見せていますが、この悪法の本質はなんら変わりません。応益負担、サービスタなどと言って、最低生活をする障害者からの一割負担という柱はなんら変更されていません。通所をやめた、サービスタを減らしたという障害者が全国に数多く存在します。施設は経営が苦しく、障害者自身の生活と権利も脅かされています。そして、ほっとのような「無認可作業所」は4年しか運営できない仕組みです。30年〜40年前、障害者、その家族が地域で生きることを目指し運動してきた成果をすべて奪い取ろうとしているのが、この法律のねらいです。病院や大きな施設への逆戻りさせようとするもので



発言する植松運営委員長。

す。自宅やアパートに閉じこもりざる終えない法律です。絶対に認めるわけにはいきません。職員、会員ともに団結して反対運動を続けていこう。

当面の重要な活動は、会員の拡大、賛助会員の拡大、学生などボランティアの方々の協力、無認可作業所の組織の結成を中心として、全力で活動することが求められています。時間はそんなに残されていません。行政の介入を断固として拒否し、会員のみなならず、すべての障害者の生活と権利を守るという視点で、反対運動に全力を注ぎ、さらに強固なほっとスペース八王子を作る必要があります。会員の皆様の今後の生活のあり方がかかっております。昨年以上の反対運動と、ほっとを大

きくしていく活動を共に行っていきましょう。

●2007年度ほっとスペース八王子第18回定期総会に参加して S・H

4月8日(日)に八王子労政会館2階第一会議室で2007年度「ほっとスペース八王子」第18回定期総会が午後1時から開かれました。僕はその日の3日前に2007年度「ほっとスペース八王子」第18回定期総会という横断幕を書きました。また総会の司会をやりました。ほっとスペース八王子代表の堀部さんや運営委員長やその他のいろいろな人の挨拶がありました。その後プレゼンテーションがあり会員みんなでプログラムや行事



会員と多くの支援者が参加した第18回定期大会

特集：第18回2007年度定期総会

の紹介をしたあと、後しばらく休ましてから今度は議長の菊池さんと交代しました。その後経過報告書や決算報告書など議案書の読み上げがありました。それが議決されて承認されました。最後に代表の堀部さんの挨拶があり総会も無事終わりました。僕は司会が終わって緊張も取れてほっとしてまあまあのお出来だったと思います。その後労政会館の3階で2次会がありました。皆さんのごちそうを食べたり、僕が筒井さんのリクエストでカオケを歌いました。この日は最後まできちんと出席できてよかったです。

●運営委員に立候補するにあたっての決意表明

ツッチー

運営委員というのはその名の通り、ホットの運営に関して直に意見が述べられ、反映されるということなので、この場をお借りして、僕の大まかな意見を述べさせていただきます。僕が重点的

に関わりたいのは障害者自立支援法撤廃行動です。学習会などで得た知識を街宣活動などの実践の場で積極的に生かしていきたいと思っています。実際、精神障害当事者による撤廃活動を行っている団体は僕の知っている限りでは東京でも2、3箇所あるかないか。多摩地域では皆無だと思っています。その特性を活かし会員を増やし勢力を強めることができれば、全学連、部落開放同盟、労働千葉、反戦活動などの様々な多くの団体との共闘が可能になると思っています。

よって、それを実現する為に、例えばユニバなどの新しいコミュニケーションツールを使い、主に三多摩在住の精神障害者の集うコミュニティを立ち上げ、積極的にホットへの見学を呼びかけて、会員の拡大を目指したいと思っています。財政活動の強化に関しては広範な情報を収集し、我々精神障害者独自の感性で、得た情報を生かす知恵として加工し、機関紙などでそれを発信し、その利ざ



意見を述べる運営委員

やを得ること
が最も理想的な資金調達の方法だと考えています。また、僕はメールによる悩み相談室を立ち上げ、一つのプログラムにしようと思っています。

れには会員の拡大、ホットの活動の活性化、内外へのアピールなどの効果があると考えています。以上の活動を所長やスタッフの協力を得ながら当事者であるメンバー自身が積極的に押し進めていく。

これが現在の僕の考えで、これらを進めていくためにも、僕に一役、役目を与えてくれるようみなさんをお願い致します。

又、僕は入所して2ヶ月も経ていない段階なので、何も間違ったことはしていないという信念はありますが、不器用の事をして何人かの方に不快な感情を与えてしまったことは深く反省しています。以上。

●恥ずかしかった総会 久嶋茉莉

四月八日八王子労政会館で、ほっとスペース八王子総会がありました。一時に会場準備。それから三十分後に総会が始まりました。まず最初に運営委員長の挨拶、所長の挨拶、賛助会会長の岡口雅子さんの挨拶、来賓の挨拶では、地域生活支援センターあくせすの所長花崎さんが挨拶があり、家族会では、S・Hさんのお母さんが挨拶をされました。その後、ツッチーさんとM・Tさんの運営委員の立候補表明を読み上げ参加者全員が承



今期もがんばるぞ！

SSKS 1995年8月10日第3種郵便認可（毎週水曜発行）2007年6月27日発行（増刊）通巻3944号「ほっと」117号
 認しました。それから、第一号議案まで皆で発言をしました。私は、第一号議案の一年間活動報告で書道教室と夕食会と望年会とカウンタダウンパーティーとワークセンターの報告をしました。報告の方は上手くいったんだけど第二号議案が練習不足で上手く出来ずに最後は、泣いてしまいました。でも、安バーさんとクーちゃんのおかげで第二号議案も出来ました。その後、交流会では、美味しい料理を食べながらお喋りをして終わりました。



連帯の挨拶をいただく

● 定期総会 クーちゃん

四月八日ほっとスペース八王子の定期総会が労政会館でありました。この日は朝十一時にほっとに集合し、車で労政会館に行きました。労政会館に着くと、早速総会の準備をしました。午後一時三十分に総会が始まりました。総会の中では運営委員長の挨拶、代表の挨拶賛助会の挨拶、来賓の挨拶、家族会の挨拶と続きました。そして次に運営委員の立候補の挨拶、プレゼンテーション、昨年の経過報告と続きました。そして総会は無事に終了しました。その後会場をかえて、交流会をし

ました。交流会は会員の紹介、来賓の紹介など、面白い話が聞けました。

● 定期総会に参加して 渡辺広海

4月8日、日曜日に八王子労政会館でほっとスペース八王子の総会が開かれました。私は会場設営の責任者だったのに、あまりその作業に入らなくて残念でした。総会はなかなか雰囲気で行われました。堀部さんの挨拶があったり、会員の「家族の方の挨拶があったり、皆でプレゼンしたりと濃い内容でした。今年こそ障害者自立支援法を撤廃」させなければいけないという思いを新たにしました。最後の締めの後、場所を移動して二次会が開かれました。とてもおいしいご馳走が出て、ちょっと食べ過ぎてしまいました。でも楽しいひと時が過ごせてとても満足です。そして会場一致で運営委員に認めてもらえたのもとても嬉しかったです。2007年はほっとにとっても良い一年になるよう精一杯努力します。

● 二次会も盛り上がったよ！

活発な議論を終え、無事、総会が終了した後、労政会館三階にて、例年通り、交流会が催されました。定期総会に負けず劣らず、活発な意見交換が行われました。乾杯の音頭の後、まずは、飲み、食べ、そして、十分アルコールがいわわたったと

ところで、交流へ。時間に限りがある総会では語りつくせなかったことを中心に、おおいに盛り上がりました。特に、改憲の動きが進んでいる中、いかに平和を守りつつ、天下の悪法「自立支援法」を撤廃させるかに議論が集中しました。この熱気と熱意があれば、必ず、自立支援法を撤廃させることができる実感した交流会でした。（編集部）

飲んで、食べて、そして語り合う。



さあ、乾杯だ！

自立支援法撤廃、君が代強制反対、国民投票法反対行動に参加して

「障害者自立支援法」を撤廃するぞ!

●自立支援法撤廃抗議行動厚生労働省前集會に参加して S・H

二月一日(木)に厚生労働省へ行って、障害者自立支援法撤廃集會に参加しました。まず、その日は来たり人みなどと一緒にビラ撒きをしました。それから次は僕がマイクでカラオケで近藤真彦の「Made in Japan」を歌いました。その後、柳沢厚生労働大臣批判の演説をほっとの会員がしているのを聞きました。ほかには他の障害者団体の会員が来て、障害者自立支援法撤廃の演説をしていました。ビラを受け取ってくれた人は心があたたかい人だと思いました。いつものようにこの日も厚生労働省の地下の食堂で「豚肉と野菜の味噌いため定食」を食

べました。柳沢厚生労働大臣が「女の人は子供を生む機械」という発言をしたことを、この日もみんなが怒っていましたこんな厚生労働大臣で障害者の未来はあるのかと思いました。

●厚生労働省前 山口咲子

二月一日、霞ヶ関の厚生労働省前で演説をしました。行ったメンバー1人1人がマイクを持ち、演説をしていました。車椅子を使っている人も自立支援法について述べていました。これからも頑張っていきたいと思いました。

●厚生労働省前で怒った私 久嶋茉莉

二月一日厚生労働省前で、退院促進事業反対集會に行ってきた。今回私は、用事があるため途中から参加した。四時前に厚生労働省前で皆と合い、シュプレヒコールをあげたりマイクに向かって、厚生労働大臣の悪口を大きい声で訴えたり、怒鳴ったりしました。でも今回は、私の声があまり出なかったのが悔しかった。私の後で、クーちゃんが大声で怒鳴っている所を見て次回、大声で怒鳴れるように頑張りたいです。

●厚生労働省前集會に参加して 渡辺広海

二月一日に、ほっとの皆と集まって、厚生労働省で行われた障害者自立支援法反対集會に参加しました。厚生労働省前に多くの人が集まっています。びっくりました。多くの人からビラをもらい、私もほっとのビラをたくさん配りました。寒くて寒くてどうしようかと思いましたが、何とか最後まで残ることが出来ました。有意義な一日でした。



障害者の地域生活確立を!

自立支援法撤廃、君が代強制反対、国民投票法反対行動に参加して

●許せない厚生労働省

クーちゃん

二月一日厚生労働省前で退院促進事業反対の集会に行ってきた。この集会で厚生労働省に向けてシュプレヒコールをしました。参加した人は皆厚生労働省に怒りをぶつけていました。

●厚生労働省前集會に参加して 花房晴美

八王子でピラまきの後に初めて都内でピラまきを行った。堀部さんと組んでピラまきの仕方を教えて下さったので心強かった。地元八王子でピラまきをするのと違い、少しやり易かった。又、他の人と無駄なお喋りなどをしてしまっただが、イヤにならず何とか最後までやれて良かったと思う。寒い中、皆と風食、夕食を共にしても楽しかった。何枚と重ねてピラまきに慣

自立支援法撤廃を要求する人々



れる様にしたいと思った。

●茗荷谷駅頭宣伝

久嶋茉莉

二月二十一日地下鉄丸の内線茗荷谷駅で街頭宣伝しました。この日は、障害者自立支援法のフォーラムがあり、そのためにピラを配りました。ピラはあつという間になくなりました。そしてピラ配りが終わり、ファミレスで反省会をして帰りました。

●茗荷谷街頭演説

渡辺広海

二月二十一日に、ほととの皆と一緒に茗荷谷駅前で自立支援法反対のためのピラを配りました。八王子ではあまり反応が良くないのですが、こちらでは関心のある人が多かったのか、30分程でピラがなくなってしまうました。帰りは皆でお茶を飲んで帰りました。疲れたけれど充実した一日でした。

●楽しい街頭宣伝

クーちゃん

二月二十一日に茗荷谷で障害者自立支援法反対のピラ撒きに行きました。ピラはあつというまになくなりました。その後ジョナサンで反省会をして帰りました。

●茗荷谷の街頭演説

花房晴美

この日はこのもなく好調だった。7、8割の人がピラを受け取ってくれて嬉しかった。でも他の人もこの日は良く頑張った様だ。何枚が多ければ慣れてくるのだろうか？



受取りがよかった！

上

自立支援法撤廃、君が代強制反対、国民投票法反対行動に参加して

●「日の丸・君が代」強制はいやだ!

でも、私は都内でピラマキをやった方がうまく行ってる様だ。でも油断は禁物。皆とのチームワークを大事にして、協力し合ってピラマキはしなければいけないと思った。皆輪になって。朝食のハンバーグ定食が美味しかった。この日は朝、健康診断なので朝食抜きだった。

君が代集会に行く途中で大怪我してしまいました。怪我をした場所は地下鉄神保町駅の階段でした。神保町の駅の出口に行くのに長い階段を上って行かなくてはならなかったの



シュプレヒコールで抗議!

●君が代不起立上映会に参加して
渡辺広海
二月二十四日に、八王子労政会館で行われた「君が代不起立」の上映、当事者である根津さんのお話を聞きに行きました。ほっとからの参加者は少なかったですが、とても充実した内容の上映会でした。最後は根津さんの裁判を応援するためのカンパをして、ロビーでお茶を飲んで帰りました。堀部さんが、この上映会のDVDを買っていたので、ビデオ上映会のプログラムでも見られて良かったです。

●大怪我した二・三日の丸君が代反対集会

久嶋茉莉

二月三日神保町で日の丸

り始めた時に、足が上手く上がらずつまずいてしまいました。最初は擦り傷ぐらいだと思い、階段を上るつもりで、立とうとしたら、いつもと違う痛みが酷く、歩けない状態になってしまい、叫んでしまいました。その後救急車で運ばれました。病院が決まるまでなかなか車が動かない状態でした。車が動き出したのは、四十分〜五十分ぐらいだったので出発しました。決まった病院は、都立広尾病院でした。病院に着いてすぐ、処置室で足の怪我を見て、直ぐにレントゲン室で、写真を撮り、その後処置室に戻り、消毒をした後点滴をして帰りました。家に着いたのは夜中の十二時近くになっていました。

●八王子工業高校日の丸君が代押し付け反対運動

渡辺広海

3月3日に、

ほっとの皆と一緒に、君が代おしつけ反対のピラをまきに八王子工業高校の卒業式に行きました。最初は工業高校が会場だ



集会で発言する河原井さん



陽だまりを求めて(?) ピラまき貫徹!

自立支援法撤廃、君が代強制反対、国民投票法反対行動に参加して

と思っていたのですが、場所が違うと知り、慌てて移動しました。ピラはあつという間になくなりました。これで少しでも君が代押し付けに反対する人が出ればいいなと思います。

●南多摩高校のピラ

まき 武田晴海



た。4月8日の都知事選では我々の立場つまり社会的弱者がま

去る3月14日、我々は南多摩高校卒業式の当日、正門前で自立支援撤廃のピラ配りをしました。歩いていく人達が渡されたピラを関心を止め読んでくれました。しかし、それでも無視をされる人々も多く、皆に関心を持ってもらう様にすればいいのか、これからの我々の課題だと思いま

すます苦しめられているという現実を理解できる。都知事を選ばなければなりません。また知的・身体障害者の人々は石原都知事には断固抗議してなければいけません。

●南多摩高校でのピラ撒き

久嶋茉莉

三月南多摩高校の校門の前で日の丸君が代反対のピラを配りました。全日制の卒業式の二日前の夜、夜間校の卒業式があり、職員五人と私で南多摩高校の前でピラを持って来る人を待っていました。中々来ないので聞いてみたら卒業式が終わったと聞き、私達が時間を間違えたと思ったら今日ピラを配る担当のかたが来なかったため諦めて帰りました。その二・三日後、全日制の卒業式の時には、朝早く、ピラ配りをしました。途中で私は、リハビリの時間があ

り、あまりピラを配れませんでした。でも、時間と予定を調べれば良かったと思います。



南多摩高の校門にて

●大変な一日 クーちゃん。

三月十二日南多摩高校で日の丸君が代反対のピラ撒きをやりました。この日は南多摩高校の卒業式です。でも卒業式が始まる時間になっても卒業生や在校生がきませんでした。それで学校の職員にきいたところ、卒業式は終わった所でした。

●国民投票法案反対!

●国民投票法案反対の集会に参加して S・H

4月11日に国会議事堂に行きました。国民投票法案、憲法改悪の手続き法の成立に反対するためのシュプレヒコールをしてみんなで反対の声を上げました。その後ラオケで僕は、近藤真彦の「挑戦者」とPEASSONZの「Dear Friend」を歌いました。その後厚生労働省の食堂で、集会に参加した人全員で食事をして、午後8時ごろ京王八王子に着きました。その日は少し大変でした。

また4月13日に国会議事堂に国民投票法案の反対の集会に行きました。そのときは、他の作業所からも団体で大勢来ていました。憲法改悪反対や自立支援法撤廃のシュプレヒコールをほつとの会員や他の団体の障害者の他の人々と一緒に叫びました。みんな、大きな声で元気いっぱいシュプレ

ヒコールをしました。あまり張り切りすぎたのか、僕はこの日は大きな音が響いて頭ががんにんして気分が悪くなりましたので、ほっとの仲間理由を言って途中で帰りました。

● 国民投票法案反対！

久嶋茉莉

四月十一日、十三日参議院第二会館前で国民投票法案反対の座り込みに行ってきました。十一日は雨の中座り込みを皆でやりました。途中で参議院第二会館の中の自動販売機飲料物を買に行こうとしたら、うっかりゼッケンを外すのを忘れて



シュプレヒコール！国民投票法案ハンターイ！

行ったので、警備の人にゼッケンを外しなさいと

言われ今、頑張ってゼッケンをぬいでいるじゃないですかと文句を言われ、最悪な一日でした。

● 国民投票法案反対抗議行動に

参加して

渡辺広海

4月13日、急遽私達ほっとスペースの仲間達は、可決されてしまいかもしれない「国民投票法」に反対するため、国会議事堂まで行きました。こんな法律が通ってしまったら、障害者自立支援法どころか、もっとひどい、例えば憲法9条が変えられてしまいかもしれないという大変なことになる。会場に着いたのは午後3時半を過ぎていましたが、結構な人の数が集まってシュプレヒコールを上げていました。もちろん私達ほっとスペース八王子の仲間達もその仲間に加わりました。障



国会前で抗議する人々

害者だけでなく、こんな法律が通ってしまったらたくさんの人達が苦しみます。無力かも知れませんが、少しでも出来る事があるならやるべきだとの思いを胸に私も叫びつづけた。障害者も健常者も関係ない、日本の将来を愁う者として、微力ながら戦ってきました。これからも戦い続けるつもりです。私一人の力なんて無力かも知れませんが、精一杯頑張ります。

★ ニューイヤークンサート ★

● ニューイヤークンサート 渡辺広海

1月始めのほっとの行事として、ニューイヤークンサートに行きました。私はモダンな服を持っていないので、いつもの格好で行っていいのかな？とちょっと悩みました。コンサート自体はとても楽しかったです。障害児者を無料で招待してくれた素晴らしい企画でした。ステージの離れにはバイオリン体験コーナーがあり、私も挑戦しました。上手には弾けなかったけれど、ギターという音を出すことが出来ました。こういう企画をぜひまたやって欲しいです。

★ 楽しかった料理教室 ★

● 楽しかった料理教室

MIKE

今回、私は初めて村里先生の料理教室に参加して、いつもと違った大勢での調理に、楽しく学びながら料理を作りました。味噌汁と目玉焼きがメインのメニューでしたが、ダシの素を使わずに煮干とコンブでダシをとり、茸や葱豆腐などで具沢山の味噌汁を皆であれこれと苦戦をしながら作り上げました。目玉焼きは、少量の水を足してふたをかぶせ、土手に仕上がるよう指導されたので、黄身と白身がバランスの取れた出来あがり、美味しく焼きました。目玉焼きも美味しかったです。今回は、カレーライス。との事で、又楽しみにしています。多勢の参加があると望ましいですね。村里先生ありがとうございます。

●料理教室 山口咲子



いざ料理教室へ

●初めての料理教室 久嶋茉莉

一月二十九日クリエイイトホールで料理教室をしました。メニューはハムエッグともやし炒め、もよしの味噌汁でした。私はほっとに入ってから初めての料理教室でした。先生はいつも夕食会でお世話になっている村里先生です。いつも夕食会の際は、普通にやっていると緊張しなかったけど、料理教室では緊張してしまい、あたふたしました。料理が出来た時、ハムを焼きすぎてしまったのがガッカリでした。今度の料理教室のメニューはカレーなので楽しみです。

●料理教室 小林まさ子

一月二十九日クリエイイトホールで料理教室があ

りました。みそしるをつくりました。みそしるのくはもやし、でした。だしはいいこと、しいだけこんぶでした。あとはハムエッグをつくりました。ごはんもたいて、食事しました。とてもおいしかったです。あゆさわさんと一緒にくみました。とても、じょうずにたいへんおいしくできました。

●料理教室に参加して 渡辺広海

1月29日に八王子のクリエイイトホールで、村里先生を講師に料理教室が開かれ、私も参加しました。料理の基本であるみそ汁やハムエッグなどを作って料理の勉強をしました。この料理教室はまだ開かれるとのことなので、ぜひ参加したいです。

●楽しかった料理教室 クーちゃん

一月二十九日クリエイイトホールでほととの料理教室が有りました。講師はいつも夕食会でお世話になっている村里先生です。料理教室で作ったメニューはハムエッグとお味噌汁です。最初に鍋の中に昆布と干椎茸と煮干



クーちゃんも挑戦

しを入れてだしを取りました。それからフライパンでハムと卵を焼きました。次にお味噌汁の具を切りその具を鍋に入れて煮込みました。出来た料理はテーブルの上において食べました。次回はカシーなので楽しみます。

●初めてのお料理教室

花房晴美

ほっとに入所しての初めての料理教室に参加した。普段毎日食べているみそ汁作りをした。自分で作るのと違ってだしを何重にも取り、具たくさんもの学んだ。照代さんと同じテーブルで協力し合って作り楽しかった。この会は私が病院から退院して久しぶりのディナーとなり嬉しかった。皆協力し合い男の人もねぎを切ったり、とても良くやってれたと思う。これからもほっとで料理教室を設けて欲しいと思う。

★ふれあいトーク★

●ふれあいトーク 山口咲子

3月2日、三鷹でふれあいトークがありました。会ではNさんの今までの生い立ち病気の事を話して行きました。私は、Nさんがずいぶん大変だったのだなと思いました。これからふれあいトークがあったら参加したいと思えます。

●ふれあいトークに参加して 武田晴海

3月2日、我々ほっとのメンバーは、スタッフとともに三鷹にある会館に行きました。そこでは奈良さんが障害者自立支援法撤廃の事を取り上げてくれて、我々の立場を理解していただいた一人の人でした。こうして我々の立場を理解してくれる人が一人でもいると心強いし、またそういう人をもっと多く得たいと思います。こういうことはもっとと広く多くの人たちに理解していただかなければいけないと思います。



会場は超満員でした！

●ふれ合いトーク報告

渡辺広海

3月2日に、三鷹で開かれたふれあいトークにほっとの皆と一緒に参加しました。奈良さんが障害者自立支援法について発言してくれたのがとても嬉しかったです。帰りはちょっと足を痛めていたため、車に乗ってジョンサンへ行き、ドリンクバーを頼みました。八王子より値段が高くてびっくりしました。ともかく、充実した一日でした。

●許せない障害者自立支援法

クーちゃん

三月二日三鷹で第一回ふれあいトークがありました。このふれあいトークは三鷹の作業所が障害者自立支援法に賛成なのに人だけが反対の立場にいます。そのためほっとスペース八王子は障害者自立支援法の反対の応援に行きました。

★日帰り旅行★

●勝沼温泉日帰り旅行

S・H

3月8日(木)に僕は勝沼温泉日帰り旅行に参加しました。八王子駅改札口に9時40分に集合して、特急かいじり101号で大月駅まで行きました。大月駅を出発して中央本線に乗って勝沼ぶどう郷駅に着きました。そこを出発して勝沼ぶどうの丘まで歩きました。そこからパーベキューハウスまで歩いてパーベキューをしました。そこで羊の肉や猪の肉を食べてすごくおいしかったです。その後お風呂に入ったときは湯加減がちょうど良くてジャクシーを浴びたときはすごく気持ち良かったでした。露天風呂はみんなには好評だったけれど僕はあまり覚えていません。僕はサウナには入りませんでした。それは、熱いのが苦手なので入らなかつたです。風呂から上がって勝沼温泉郷の冷たい水を飲みました。休息所に移ってソフトクリーム、ミックスと味噌田楽を二本味わいながら食べました。A子さんと咲子さんと3人でジュースを飲みながら楽しくおしゃべり

をしました。部屋では、ゲームをいたけど僕は調子が悪くて参加する元気がありませんでした。次はA子さんとツツチーと3人でお土産を買ってよかったです。そのお土産は両親にねぎ味噌せんべいとマスカットドライフルーツを買いました。その理由はおいしそうだったからです。帰って食べたらマスカットドライフルーツすごくおいしくてねぎ味噌せんべいは普通でした。「駅と天空の湯」の行き帰りは歩きだったのであくは筋肉痛になりました。この日も食べ過ぎてつらくなって景色をみて楽しむことはあまり出来ませんでした。



ツーショット! でした。

●日帰り旅行

久嶋茉莉

三月八日山梨の勝沼ぶどう郷に行ってきた。集合は、八王子駅。その後、かいじ百九号に乗り、大月まで行ってそこから各駅停車に乗り、勝沼ぶどう郷駅から歩いて勝沼ぶどうの丘まで行きました。着いた後、最初に食事をしました。お昼はバーベキューを食べそれから天空のさとでお風呂に入り痛い足が楽になりました。

露天風呂に入った時、男風呂から話し声が聞こえ楽しそうだなと思いました。お風呂から出て、お土産を買いに行きました。その時は、リーズンチョコとキーホルダー馬刺しの燻製を買いました。休憩場で、ゲームしたり少しの時間の間に、お昼寝をしてぶどうの丘を出ました。帰りは、各駅電車が高尾駅で乗りかえて八王子駅近くの喫茶店で反省会をして帰りました。



お肉にムチュー

●気持ち良かった日帰り旅行

クーちゃん

三月八日ほっとの日帰り旅行に行きました。場所は勝沼温泉です。この日は9時30分にJR八王子駅に集合しました。それから八王子から特急に乗って大月まで行きました。大月からは普通電車に乗り換えて勝沼温泉まで行きました。勝沼温泉から勝沼ぶどうの丘まで徒歩で行きました。現地に到着して早速皆でバーベキューをしました。その後天空の湯の露天風呂につかりました。露天風呂がひろくて気持ち良かったです。そして露天風呂上がり休憩所で体をやすめました。帰りは勝沼温泉から普通電車に乗って大月まで行きました。大月からは特急に乗る予定でしたが、特急電車がくるまで、一時間以上時間がありませんでした。そのため勝沼温泉から乗った電車が高尾まで

で帰ってきました。高尾からは快速電車に乗り換えて八王子まで行き、八王子で反省会をして帰りました。最後に実行委員の方々に苦勞様でした。

●日帰りの1泊旅行

花房晴美



他の作業所では体験した事がない1泊旅行に行ってきた。電車の距離も長くない、バーベキューも美味しかった。ただ野菜が足りなく、もやしばかり一皿あまった。まあ良い体験だ。温泉にも入った。普段仲が良くない人でもこの時とばかり親しくなれる。時間を持て余したので、下矢さんや橋本さんなどとお喋りを楽しんだ。電車に乗ってきから八王子で反省会。ほっとは参加行事には必ず反省会がある。この反省会を大事にして新しいことにチャレンジしたい。



思い出がまた一つ増えました。



井田さんわかめちゃん、結婚おめでとうございます。いつまでも、お幸せに。

●YOUさんとワカメさんの

結婚を祝う会

久嶋茉莉

三月十五日ほっとスペース八王子で、YOUさんとワカメさんの結婚を祝う会をしました。YOUさんとワカメさんの結婚を祝う会が始まったのは三時過ぎです。司会はZさんがしました。YOUさんと



ご結婚、おめでとうございます。

ワカメさんの結婚を祝う会の中では、村里先生のお手製の料理を食べたり、Zさんお祝いの歌を聞いたり、質問コーナーがあったりして楽しい時間が過ぎました。質問コーナーでは鋭い質問が行き、二人は顔を見詰め合いながら、相談していました。

●結婚を祝う会に出て

MIKE

2月15日に催された、井田さんと由井さんの結婚を祝う会に私は出席して、いつもは人が少なめな「ほっと」に、多くのメンバーが参加してい

る事に驚きました。

それほどに、職員としての井田氏の人望が高い事、めでたい日を祝いたい皆の

気持ちに積極的なことに私は改めて、共に作業所に集う仲間の連帯の力を強く感

じました。会は村里先生の美味しい料理と、デザートを口にしながら、皆で盛り上がり、主賓への質問では、かなり冷やかしの言葉が飛び交っていました。



幸せそうな二人でした。

私は、特に質問が浮かばずに、話を聞いているだけでしたが、十分に楽しかったですし、結婚された二人は幸せそうだったのでよかったです。もともとは全く違った道を歩んできた二人の人間が、共に協力しあい、助け合って生活していくのは楽ではないと思います。二人がいつまでも絆を強く持ったまま、互いに理解しあい未永く仲良くやって行けたらいいなと、私は思いました。久々にW氏にも会えましたし、気持ちの良い「祝う会」でした。

●井田さんとわかめさんの

結婚を祝う会 S・H

3月15日に井田有哉さんと油井わかさんの結婚パーティーがありました。お祝いの言葉で「油井さんの赤ちゃんがいっ生まれるのか」という質問がありました。僕はそれが印象に残っています。お祝いの言葉として、「井田さんと油井さんがけんかをしないでいつまでも幸せに暮らしてください」と言いました。料理はいなりずしと野菜サラダとホットドッグを食べてすごくおいしかったです。それで押しすがデコレーションケーキのようでした。あと唐揚げとシウマイが味が良くておいしかったです。それから野菜サラダも味が甘めでおいしかったです。それで井田さんとわかさんの結婚パーティーが始まる前にカードと色紙を書きました。あとほかくさんの会員のスピーチがありました。その後井田さんがこれからの展望を述べました。僕は最後に井田有哉さんと油井わかさんがこれから幸せになっ



豪華な料理が完成です。

てほしいと思いました。

●井田さんとわかさんの結婚を祝う会

山口咲子

3月15日、井田さんとわかさんの結婚を祝う会があった。本当におめでとございませう。その上に8月にベビーが誕生すると聞き、2重におめでとございませう。この日はわかさんがチャイナドレスを着て、とても色っぽかったですよ。今の気持ちをお忘れず、いつまでもお幸せに…。



素敵なかちゃんです

●井田さんとわかさんの結婚を祝う会

武田晴海

3月15日、スタッフの井田さんとメンバーのわかさんとの結婚式がありました。おしを作ったりご馳走を食べながら、わいわいと賑わってとても楽しかったです。新婦にはすでに新生児がおり、無事に誕生することを祈っています。無事出産したら又皆でお祝いしましょう。

●3月15日ゆうさんとわかさんの結婚

を祝う会 渡辺広海

3月15日に、職員のおゆうさんと会員のわかさん

んの結婚をお祝いするパーティーが開かれました。私は大きな紙にゆうさんとわかさんの似顔絵を描きました。設営の手伝いもしました。式はとも盛り上がりました。ご馳走が出てとても良かったです。ゆうさん、わかさん、これからも末永くお幸せに。

●井田さん由井さん結婚おめでとございませう。

クーちゃん

三月一五井田さんと由井さんの結婚を祝う会がありました。この日は売店研修面接の付き添いのため三時にほっとに行きました。料理は村里先生が料理を作って頂きました。それで三時から祝う会がありました。祝う会では参加者から質問があったり、歌があったり、飛び入り参加の和田さんのマジックがあって、非常に盛り上がりました。最後に村里先生お忙しい中お難うございました。

★香華販売★

●香華販売

久嶋茉莉

三月十八日緑町霊園で香華販売をしました。参加人数は四人(途中一人増えたので)合計五人で香華販売をしました。最初は、お花より、お線香が売れてきて心配もありましたが、少し時間が経つてくるとお花も売れて行き最高でも、六

東買って行く人もいました。お昼になって来るとお客様もふえてきました。途中クーちゃんも来て、最後まで皆がんばりました。売り上げも昨年と違って少なかったけど、カンパを頂いたりして嬉しかったです。次回もがんばりたいです。



準備完了です!

●3月18日香華販売

渡辺広海

3月18日に、ほつとの皆と緑町霊園で華芸販売に参加しました。すごく寒くて参りましたが、皆でストープにあたりながら、お花やお線香、しきびなどを売りました。売上が20万越えた聞き、すごく売れたんだとびっくりしました。寒かったけれど、とても良い一日になりました。

★ボクシング観戦記★

●最高のボクシング観戦 クーちゃん

三月二十四日西園国技館で亀田興毅の試合を生で

見てきました。亀田興毅選手の試合は凄い迫力であっけに撮られながら、見ていました。でも試合は両選手の激闘の未判定になりました。判定は三人のジャッジの末三対〇で亀田興毅選手が勝ちました。楽しい1日でした。また試合があったら、見に行きたいです。

●花見会 山口咲子

★花見会★

4月2日、藤森公園で桜のお花見会があった。昼食用に五目いなりを持って行って、桜の木下で食べる昼食は最高だった。ただ、お天気が曇っていて小雨が降っていたのが残念でした。来年もこのようなお花見があったら参加したいと思いました。

●お花見

武田晴海

4月2日、今にも泣き出しそうな日でしたが、それでもほつ

との中で、ちらし寿司を作り、非常勤の人々からビールなどの差し入れもあり、結構楽しめました。



満開の桜の下で...

私は足が悪いので、花見の会場に行くときに、空車のタクシーを見つけたので、つい手を上げてタクシーに乗っていきました。入り口から少し上ったあまり広くなかった場所でしたが、ビニールシートを広げました。後から歩いてきた人たちを待つために、入り口前で待っていたところの、分て皆が来たので、その後おすしを中心に食べ、差し入れのビールも飲みました。少し寒く、久々のアルコールでしたが、しっかり味わいました。

●花見 久嶋茉莉

四月二日富士森公園でお花見しました。お昼前、ほつとスペース八王子で、皆で作った五目いなりと五目ちらしを持って富士森公園に向かいました。会場では、桜が満開でした。桜を見ながら手作りの料理を食べ、皆さんとこさんのお酒とおつまみを買って来てくれたので、桜の木の下でお喋りしながら楽しめました。途中で雨が降ってきたので、私知っていたる所に移動したのですが、私の勘違いで屋根がない場所に行ってしまうと、反省点としては、もうちょっと場所を考えれば良かったです。

●花見会 渡辺広海

4月2日に、八王子富士森公園で花見会がありました。あいにく天気があまり良くなかったのですが、ほつとで準備したちらし寿司や飲み物などを持って出かけました。10人程参加しましたが、

お料理が多すぎて余ってしまいました。ちよっともったいなかっただです。それにもう少し暖かければもっと良かったです。来年はいい天気だといいなと思います。でも最後に少し雨が降りました。まだ桜が満開でしたので、楽しみました。

●気持ち良かった花見 クーちゃん。

四月二日富士森公園で花見にしました。この日はほっとで五目寿司といなり寿司を作って持って行きました。花見は桜の下でお酒を飲みながら、ご飯を食べながら、楽しい話をしながら、花見をしました。でも花見の途中で雨が降ってきたので、屋根がある場所に移動しました。でも移動した場所は屋根がありませんでした。最後に山田さんと梅田さんお酒を差し入れ有難うございました。それと掘部代表ご飯の材料の差し入れ有難うございました。

●花見会

編集部

あいにくの雨模様で、しかも、ウィークデーでしたが、桜の下はお花見の人々で結構にぎわっていました。まだ、出店も出ていました。

ほっとの花見には、タコのチエンマイで、引きこもりの方の自立支援活動の事業化を構想し、タ



梅田社長、久々のツー、いやスリーショット!

イから帰国したばかりの(株)バビロンシステムリサーチの梅田社長も参加し、アルコールやソフトドリンク、つまみを差し入れてくださいました。みな大喜びでした。来年も花見にぜひ参加して、どんどん差し入れてくださいね。期待してますよ。

★プロレス観戦記★

●プロレス観戦記

渡辺広海

2月18日に、林(ま)さんと廣井さんと山田さんと4人で、八王子市民会館で行われたプロレスの観戦に行きました。すごい迫力で、会場からは各選手に対する声援がおくられていたのすごかったです。私はあまり遅くなれなかったの途中で帰ってしまいましたが、とても貴重な経験でした。

●両国国技館と八王子市民会館

久嶋茉莉

一月十八日両国国技館と三月十三日八王子市民会館で新日本プロレス観戦を見に行きました。最初の二月十八日は、相撲で有名な両国国技館でした。席は、桟席。ちょっと道が狭く、通るのに大変でした。試合が始まりシユースを飲みながら私の大好きな選手を応援しました。蝶野選手の時、生で見たらテレビと違い、おじさんみただった。

年齢を見たら、私より年上のことがわかり、テレビと比べたら全然違う感じでした。三月十三日八王子市民会館では、試合中に大怪我をしてしまった、中邑真輔選手が敵にやられている所を見てかなりショックでした。中邑真輔選手は、敵がいますを持って中邑選手に殴ったりして大怪我をして味方の仲間におぶってもらいながら退場しました。結果は、敵の方が審判に殴ったため中邑真輔選手の勝利でした。その後、休憩時間の時に井上巨のサイン会がありました。会場でお土産を買ってサインをしてくれるので自分もタオルを買ってサインをしてくれました。井上巨選手と記念撮影してもらいました。その後、試合の前に、サインポールを会場で投げクーちゃんの所にも一つボールが来たのだけと後ろの観客とクーちゃんがとりあえっこして、私が、「がんばれ」と言ったら後ろの人は、諦めて、「いいよ!」と、元の席に戻ってしまいました。サインポールの名前は田口選手でした。今回も、楽しい観戦でした。

●凄い迫力だったプロレス

クーちゃん

二月一日と三月二四日に新日本のプロレス観戦に行きました。二月一日は両国国技館の桟席で見ました。自分はテレビで見ると、生で見ただけが迫力がありました。それにお客さんが試合を盛り上げ、自分も一緒に盛り上げました。三月二四日は八王子の市民ホールでもありまし

た。八王子の市民ホールでは選手の応援わ怪我をした選手に励ましがありません。自分は怪我をした選手がかわいそう、たまりませんでした。

★自閉症児裁判傍聴記★

●自閉症児転落事故損害賠償請求裁判

山口咲子

2月15日は、裁判所に行ったが、5分ぐらい遅れていったら裁判が終わっていました。これから気をつけます。ごめんなさい。

●自閉症児損害賠償裁判に参加して

武田晴海

3月29日八王子地方裁判所にて、自閉症児損害賠償請求裁判を傍聴しました。現在の教育現場では国の圧力がだんだんと強くなり、教師がきちんと生徒と向き合い、児童、生徒の悩みや苦しみをまたいじめられている子供達の悩みを聞くことが肝心なのに、国からの押し付けで、現場の学校がいかにもひどい目にあっているか、この裁判を通して知りました。国からの圧力がどのようなものであっても対決していかなければならないと思っています。

●自閉症児の裁判に行って 久嶋茉莉

二月十五日東京地裁八王子支部で自閉症の児転落事故の裁判に行ってきた。裁判に行ったのはいいけど今回私は、足の大怪我でひっこを引いて行ったので、裁判所に着いた時は、次回の予定の話になっていました。その後、裁判所の外で、裁判の状況を聞きました。その時に、被害者のお母さんに会い、被害者のお母さんから挨拶下さり、嬉しかった。お話が終わって、ほっとに戻る途中でヒューマンケア教会に行きました。ヒューマンケア教会では久しぶりに田島さんと会い、お喋りしたり、お茶を飲んだりして、楽しく過ごせました。

●2月15日自閉症児転落事故裁判傍聴

渡辺広海

2月15日に、自閉症の子供が転落し、怪我を負ったという事件の裁判に行きました。ご両親の意見が発表されました。責任逃れをしようとする学校側には怒りを感じます。2度目の裁判には行けなかったけれど、次回はぜひ参加したいと思っています。

●許せない小金井市 クーちゃん

二月一五日八王子地裁裁判所で自閉症転落事故裁判の応援傍聴に行ってきました。この裁判は自

閉症の子が授業中体育室の倉庫の中に入ってしまった先生が中から出てこないから、倉庫の扉をしめてしまい、倉庫の中にいた自閉症の子はパニックになってしまい、二階の窓から飛びおりてあごを怪我してしまいました。そのため、怪我をした子とその両親は市と担任の先生と教育委員会に損害賠償を訴えています。僕たちはずっと裁判を応援して行きます。

●八王子地裁傍聴

昨年の障害者人権ネットワークとの交流会をきっかけに応援傍聴に駆けつけるようになりました。私たちはお国の面子ために子供たちの教育としっかり向き合えない教育現場に反対しました、「自閉症児だから事故原因がわからない」とした行政の「障害児・者」差別に反対するため、今後とも応援傍聴を続けたいと思います。

これからいままでの傍聴の様子を述べさせていただきます。公判1回目12月14日は原告の父母の意見陳述が読み上げられました。

これは本来ならば非公開でもすませられるものらしいですが、原告側たつての要望で公開で行われました。少年の父母の決意と憤りの深さ



傍聴後の打ち合わせミーティング

を感じました。公判2回目2月15日は準備書面のやり取り、今後の裁判におけるお互いの進行日程の意見交換と調整が行われ終了しました。公判3回目3月29日はようやく原告、被告の弁護士による応酬があり、不謹慎ながらドラマや映画の一場面のような感じでしたが、案外一部始終静かに進行されたのでやはりこれが本場の裁判なんだなと思いました。終了後の原告側との会合で

★イラク反戦集会に参加して★

ツッチー

3月18日、イラク世界同時反対集会に行ってきました。個人ごとですが僕は昔オープンスペースに出入りしていた事があり、その様な集会は何度も誘われていたのですが、諸所の事情があり、今回が集会初参加となりました。

所長と井田さん、僕の三人で行ったのですが、メンバーとしての参加は僕だけだったので、他の人はあまりそういう事にあまり関心がないのかなあ、と思っていました。

さて、霞ヶ関駅から地上へ出るとヒル街にまず圧倒されました。すぐ目の前にお目当ての日比谷公園がありました。警察官がウヨウヨしているのにまず驚きました。

そして、集会場に向かう途上でズラッと並んだ各団体の方々から色とりどりのヒラを手渡されながら会場入りすると、まず、印象としては案外予想していたより小さなところだなあ、と思いまし

弁護士さんから傍聴席に一人でも多くの方がいれるほど裁判官もいかげんな進行ができなくなり、学校など公な機関に弱腰な裁判所に対して原告側が有利に裁判が進行すると聞き、私事で恐縮ですが最後に原告のお父さんから礼を述べられたので今後も応援に駆けつけ、できるかぎり協力していこうと思いました。

た。そして人もチラリホラリで開場一時間前にしました。ホットの旗を立てたりお昼を食べたり、有利に裁判が進行すると聞き、私事で恐縮ですが最後に原告のお父さんから礼を述べられたので今後も応援に駆けつけ、できるかぎり協力していこうとおもいました。もらったヒラに目を通したりしていました。会場の左前の方で法政大学の学生達のアジ演説が始まりむなしく空席だらけの開場に響き渡っていました。そして、遠くから右翼のガナリ声がかたまっていました。さて、なんだかんだ開場10分前になると割位、会場は人で埋まり、学生、部落、障害者(僕っ)



3/18、日比谷野音にて

反戦、労組、郵政省職員、教師、在日、看護師、イスラム、など、ありとあらゆる団体がそれぞれの旗を立て、陣取っていました。そして集会が始まり各団体の主張が二コマ二十分位、二時間続きました。詳しく書きたいのは山々ですが、正直あまり皆何を主張していたか解りませんでした。あまりにも各団体の主張がバラバラで統一性を欠いていたからです。だからよく覚えてはいませんが、大体は、一部の資本家の言いなりにはならないぞとか、労働者の結束をよびかけたり、大学の不正な処分に反対したり、冤罪を三十年かけて勝ち取ったのだの、沖縄の基地がウンタラカンタラ戦後レシユームがどうか、戦争を止められるのは労働者だか、もう様々だったので覚えていません。受けた印象としては、イラク戦争反対というよりは、資本家への労働組合の色合いを強く感じました。わかりやすく説明すれば、この集会は、国家大企業、などの大きな像に群がって打ち負かす、小さな蟻の集団(我々たくさんの弱い立場の間)一匹一匹の結束を呼びかけ、といった感じを受けました。そしていよいよメインイベントであるデモ行進が始まりました。僕らは、一番先頭の集団に加わりました。総勢二七〇〇人が三時半に出発、日比谷、銀座、東京駅の道程で行進しました。み



いざ、デモへ

んな色とりどりの旗、プラカードを持ち、様々な楽器をかき鳴らし、コスプレあり、裸になる人あり。それが百人単位の警察官と、押し合いへし合い、途中から右翼の街宣車が軍歌を大音響でぶっかけながら乗りつけてきたり、それに負けずとわれわれもシブレヒコールをありったけの大声で連呼しながら、さながらどっかの東北のお祭り顔負けの大騒ぎでした。通行人は呆氣にとられ、ケー

★外登法・入管法反対関西研究交流集會に参加して★

許せない排外主義・民族差別く外登法・入管法反対関西研究交流集會に参加して①

ゆう

先日、四月十五日に京都大学で開催された「外登法・入管法と民族差別を撃つ関西研究交流集會」に参加してきました。

当日はとてもよい天気で、京都大学に向かう車の中から、きれいな桜や街並みを眺めながら会場に向かうことができました。集會会場は法経四番教室という場所で、久しぶりに教室の机に座り、懐かしさを感じながら開会を待ちました。

「日本プロレタリアートのまえ盾うしろ盾」くまず始めに、呼びかけ人の李相泰さんからのあいさつがありました。

「日本は、都合の良い時はどんどん外国人を雇い必要がなくなれば排外の標的にしている。よく外

タイのカメラで我々を撮影している人が多く観られました。デモは五時半位に解散しました

我々三人は新宿に戻り大戸屋で反省会をしました。そしてぼくは小田急線で一人帰途につきました。帰りの電車で段段、冷静に戻りつつ、集會でのみんなとの一体感というものはかつてない感動だなぁ、と痺れながら、もう病み付きになりそうな僕でした。チャンチャン

国人に問題があると言つが、問題があるのは日本の社会だ。そして、日本の社会を変えてきたのは在日外国人の闘いだ。」という話がありました。

たまたま先日、ほっとスペース八王子運営委員会の学習会で、中野重治氏の「雨の降る品川駅」が取り上げられました。情感溢れる素晴らしい詩の中に、在日外国人の人々が日本の労働運動への関わりが詠われていました。運営委員長の解説を聞いた後、この日の李さんの言葉を思い出しました。く強制連行の実態と年金差別く

その後、在日韓国・朝鮮人高齢者の年金訴訟の原告団長の方、尼崎入居差別訴訟の方、「消せない歴史ー日本軍「慰安婦」のビデオ上映を挟んで、在日韓国民民主女性会の方、不二越訴訟原告の方から、それぞれ発言がありました。

在日韓国・朝鮮人高齢者の年金訴訟の原告団長の玄順任さんは、どのようにして日本に連れて

来られ、現在どのような立場におかれているかというお話しでした。「朝鮮で日本に財産を全部没収され、お金になるといつ日本に連れられたが、日本での生活はお金どころか食べるのがやっとだった。それから八十歳になる今まで差別と闘っていきっている。言いたいことは本当にいっぱいある。」これまで日本での生活を余儀なくされ、八十歳になった今でも年金がもらえない、という無念の胸の内を語られていました。時間の制約で玄さんの想いの全てを聞くことができません、とても残念でしたが、ここまであからさまな差別を放置している政府・地方自治体への怒りでいっぱいになりました。

く民族差別の入居拒否は違法なのに棄却？く入居差別訴訟の李俊熙さんからは、結審の報告がありました。結局、裁判所は李さんの訴えを棄却しました。民族差別による入居拒否は違法をしな



入管法反対集會にて発言する人々

SSKS 1995年8月10日第3種郵便認可(毎週水曜発行) 2007年6月27日発行(増刊) 通巻3944号「ほっと」117号

からも、今回の訴訟においては、動物を飼おうとしたことが入居を断った主要な理由にされたことでの棄却だったそうです。入居時の話し合いから、入居が断られた理由が民族差別であることが明らかでした。にもかかわらず裁判所にその事実を認められなかったことに対して、怒りを禁じえませんでした。また、李さんの訴訟の成果として、民族差別による入居拒否は違法であるという判例を勝ち取ることができました。李さんの努力と勇氣に頭が下がる想いでした。

〜安倍首相は謝罪の相手を間違えるな〜

在日韓国女性会の呉祐見さんは、「このビデオを見ると胸がいっぱいになってしまふ...。」と発言の直前に上映された日本軍「慰安婦」のドキュメンタリーにふれ、「ビデオの中でも紹介されていた毎月第一水曜日に韓国日本大使館前で行なわれている「水曜デモ」や、日本軍「慰安婦」の人権回復を目的とした「戦争と女性人権博物館」についてのお話がありました。先日、安倍総理がプッシュ大統領に対して「慰安婦問題」への謝罪をし、それに対してプッシュが謝罪を受け入れるという報道がありました。また今年から四月二十九日が「昭和の日」に変えられてしまいました。これを聞いた被害者の方々の気持ちはいかばかりであったか、暗澹とした気分になります。

〜強制労働と児童虐待〜

不二越訴訟原告の李福實さんは、十二歳の頃、強制的に日本に連れられてこられた当時を語ってくれました。当時の学校長は日本人で、勉強ができるうえに、仕事はボタン付けくらいのもので、と騙

し、また、日本軍に協力しろと脅し、多くの少女が親元から引き離されて、日本の不二越という機械メーカーに連れてこられたのだそうです。その労働は夜も続き、食事や賃金も与えられず、十二、三歳を中心とした子ども達にとって、どれほど劣悪な状況だったのか、私には想像することもできません。「児童虐待」そのものだと思います。この強制労働に対して、未だに日本政府と不二越は、その責任どころか謝罪すらしていないという状況で、被害者の高齢化はどんどん進んでいます。第一次の訴訟で和解をしたならば、当然第二次であっても、その責任の所在は同じです。全ての被害者に早急な謝罪と補償を求めます。

★ゴールデンウィークの活動★

●5月1日メーデーについて

渡辺広海

5月1日、日比谷でメーデーがありました。私も張り切って参加する予定だったのですが、途中で体調が悪くなって帰ってしまいました。普段は平気なんです、この日だけはちょっと本当に体調が悪くて駄目でした。次回からはこんなことが



交流会にて

ないよう、注意して参加したいと思います。雨が降っていたのもちょっと熱が出た原因かも知れません。

●5月3日憲法集会について

渡辺広海

5月3日、憲法集会に行ってきました。社民党の辻本清美や民主党の官直人が来ていて、おおいすこい豪華な集会だなと思いました。内容はシンポジウムのような感じで、私たちほっとのみんなは前から2列目に座りました。正直、EUのことはどうでもいいと思ったのですが、辻本さんが国民投票法案を廃止にする、ときっぱり言い切ってくれたのが嬉しかったです。ともあれ、この日はとても充実した一日でした。

●5月5日長房端午祭りについて

渡辺広海

5月5日、長房端午祭りに参加しました。最初から行くのかなと思ったら帳合作業をしていたので、それを手伝ってから出かけました。2時間くらい歩いて、汗びっしょりになりながら歩きました。私は日焼け止めを塗っていかなかったのですが、肩や顔が真っ赤になるほど日焼けしてしまいました。会場では中国の餃子みたいなものを食べた、植松さんが買ってきてくれた焼きソバやとうもろこし、お茶を飲んだり食べたりしました。堀部さ

んの持ってきたお稲荷さんもおいしかったです。帰ってから、斎藤さんと山田さんの歓迎会がありました。そっちにも参加して、斎藤さんや山田さんのお話をいろいろ聞きました。疲れたけれど、楽しい一日でした。反省点としては、疲れすぎて帰りにバスを使ってしまったことですね。来年からはちゃんと自分で歩いて帰りたいと思っています。

★書評★

「引きこもり狩り」 雲母書房(1600円)

芹沢俊介編

「善意の道は地獄へ通ずる(教訓その1)」 - この本は、愛知県にある2つの「引きこもり」の人々の施設でおきた「事件」を扱っている。パイ・メンタルスクールと長田塾。ともに暴力と強制で全国から「引きこもり」の人々を集め、治すことを目的としている。経営者の杉浦と長田は姉妹であり、さながら「引き出しシスターズ」といった鼻息の荒さだ。とくに長田はテレビにもよく出ている。まずその家庭へ出向き、母親に子供を殴らせたり、子供には「てめえ、甘えてんじやないよ、みだいなことを言っつて、施設へ連れて行き、根性を治めて私が治してやる(治して、に黒点あり)」といった手法である。世間体も含めて困っている親はありがたいと思っつて金まで払っつて長田にお願いするといっつシステムである。その結果、パイ・メンタルでは死亡事件を起こした事

は記憶に新しい。

「支援において何が必要なのかを決めるのは、する側ではなく、支援を受ける側である(「教訓その2)」 - この本の著者らは、〇人生の中で、「引きこもり」は必要である。〇「引きこもり」は病気ではない。治す対象ではない。〇暴力、強制では解決しない、といっつような思想を柱に、長田らを批判している。そして重要なことは、私たちがほつとスベール八王子にかかわる者にとつても、考えのこつと反省することが多くあるといっつことだ。教訓その2などもそつとであつう。病院、老人ホーム、養護学校、障害者施設、子供の施設、作業所など、構造的に同じよつたなこつとで実際には何が行われているのか。ミス隠し、虐待、セクハラと教え上げたらきりがないほつと日々行われているのではないか。それも「善意」の人々によつて。

「お年寄りに振り回されていない施設は問題である(教訓その3)」 - (高口光子「この施設は黄信号」月刊プリコラーシユン2006年の月号) 「お年より」を他の対象の人々に置き換えてみれば、われわれにも十分教訓になるのではないか。医師、看護者、患者、施設、入所者、職員、通所者などといっつ関係性では、常に自省していなければ、すべしパイ・メンタルや長田らと同じこつとになるといっつことを考えなければならぬ。方針として、「障害者開放」を掲げているといっつことだけでは、これらの危険性は担保されなければなら

ない、といっつことを自戒しなければならぬ。(植松)

*私たちが、これから始めよつとしていっつ、スロースタート in チェンマイ」の企画は、この事件のアンチテーゼとしてあり、その成功が期待される。自画自賛でしよか?

★新非常勤職員紹介★

★ 1944年横浜産、神奈川県を転々、大人になつて東京を転々、日本を転々、現在八王子市南大沢在住。長年、コンピュータのシステム開発及び教育に専念。パソコンが普及し始めてから「パソコンは人間を駄目にする」と直接人間に關する仕事に就く。介護保険の始まる2年前から介護事業研究会で老人問題に取り組んだり、知的障害者施設で自閉症や多動性の障害の支援員をする。

現在NPO法人 障害児者人権ネットワーク理事、八王子生涯学習インストラクターの会理事、社会福祉法人幹福社会に屬し立川市障害福祉課の委託で車椅子のこ老人や障害者の移送をしている。世界平和と個々人全ての人間性の尊重をモットーに細々と努力している。

ほつとぼつと行こつや人生は、人との付き合いは観察6割、他人の気持ちになる2割、そつとして愛情、!! 2割かな (斎藤 邦寿)

★今年三月より「ほっとスペース八王子」に非

常勤職員として係るようになったT・Yです。障害者自身による自主運営の作業所ということで、微力ながら会員の皆様方の自立へのお力になればと思っております。自立支援法の施行により、障害者を取り巻く環境が激変し、どんどん、生きていくことが困難な社会へ変えられようとしておりますが、なんとしても、全国的な障害者運動の連帯の力で、この悪法を撤廃させて行かなければならないと思います。折りしも、改憲へ向けた「国民投票法」も強行採決されて成立し、改憲へ向けた動きも急を告げており、これからが戦いの正念場になると思います。ほっとの皆様方と一緒に、自立支援法撤廃、改憲阻止に向けてがんばっていきましょう。いいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(T・Y)

《投稿》

映画「コマンドアンテ」を見て

「カサナグの会」代表 児玉繁信

映画『コマンドアンテ』(オリバー・ストーンがフィデル・カストロに密着してインタビューした記録映画)は、監督オリバー・ストーンの意図を超えて、コマンドアンテ・カストロの人物像と現代キューバの実情を断片的の積み重ねではあっても鮮やかに描き出し、結果的には貴重な映画になっている。

オリバー・ストーンはベトナム戦争に従軍し二度にわたり負傷した経歴を持つ。映画『プラトーン』でベトナム戦争を闘った米兵の軍隊生活、米兵の扱われよう、惨めな死を描いた。栄光に満ち賞賛される兵士だけの米兵像に異を唱え、米兵も一人の苦悩する人間として描き出したこの映画は、米国民に衝撃を与えた。しかし他方、ベトナム人はまるで小動物であるかのように描かれ、人間扱いされていなかった。オリバーの「人間的感情」の適用範囲は米兵までであって、解放戦線や北ベトナムの兵士や民間ベトナム人にまで及んでいなかったという点は指摘されるべきであると思う。

オリバーの質問内容やそのスタイルは、カストロの返答に比べて対比されると明確になるのだが、アメリカの実証主義とはこんな考え方であることを鏡のように映し出し描いてしまう。オリバー個人の考えもちらん出ているが、でもそれを超えて現代アメリカ人ジャーナリストの問題の捉え方、皮相的な「事実」を重ね「ディベート」に秀でた「IQが高い」とされる現代アメリカ知識人の一つのタイプが、カストロに対比されて現れるのだ。カストロの応答といかに違っているかを描き出してしまつた。

オリバーは一言の回答を求める。その要望に沿って、カストロは丁寧に率直にそして得意即妙に一言で答える。そのことで、カストロがいかに知性溢れる人物であることを表現してしまう。オリバーはカストロの欠点やキューバ社会の欠点をあぶり出そうとしたが、あぶり出たのはカストロ

がいかに魅力的な知性溢れる人物であるか、偉大な知性であるかだ。

フッシュや安倍など現代資本主義国の政治家たちだが、例えば同じようにオリバーの質問に曝されたら、たちどころに馬脚を現してしまうだろうなどと想像させしてしまう。観た誰もがカストロとカストロに象徴された現代キューバ社会の生命力を受け入れざるを得ない。アメリカでこの映画上映が禁止されている理由でもあるのだろう。「自由の国アメリカ」の「自由」がたいしたものであることがたちどころに判明してしまう。

カストロは話せばわかると信じているのだろう。「自分は人を説得するのが好きだ」と語る場面もあって、誠実に話せば、最終的にはわかってくれるというカストロの確信に似た考えも明確になってくる。彼は一貫してオリバーに自分の考えを語っている。キューバの抱える困難もキューバ社会の欠点も決して否定しない。

カストロは後継者問題を尋ねられて、後継者によってキューバ社会が混乱するというオリバーの理解の誤りを指摘するかのようになり、後継者を誰にするかも重要だが、キューバ国民の政治的成熟を信頼しているし、その点で心配していないと語った。

死を避けたいか?と問われ、避けられないと即答した。それは希望して変わるものではない。人生を二度すこせたらいいとある人物が言ったがどう思うかと問われ、そのような考えを持つに至る事情は理解するが、そんな考えを自分は持たないし、またもつべきではない、という。彼が個人的

にもものを考えるところからいかに遠いところにいるか明らかにした。

チェ・ゲバラのことに触れて、カストロが「チェは社会主義建設を行うにあたり資本主義の手法導入に賛成しなかった」と即答したことには驚いた。キューバではチェ・ゲバラは尊敬されていて、歌にも歌われ、革命広場の大きな肖像にもなっている。しかし、カストロもキューバ政府もチェの意見の違い、批判を率直に語るのだ。このカストロの問題意識は、60年代のキューバ社会主義建設にかかわる判断であるが、同時に90年代の危機にあたり新経済政策「資本主義を檻の中で飼う」を導入して対処してきたことなどもあって確立している評価でもあろう。

オリバーが黒人系の人々が政治指導者に少ないことを指摘する。カストロはそれを認める。革命前、黒人層は奴隷状態にちかく最貧層を形成していた。革命によって教育も医療も生活も向上し政治参加も実現したが、現在でもなおその社会的差別が完全には解消していないことを認める。

警備の者たちもいるのだろうが、カストロが街に出て、率直に人々と接する姿にはあらためて驚く。カストロとキューバの人々との距離は驚くほど近い。ほとんど多くの人々がカストロに親しみを覚え、かつ信頼していることが映像の端々でわかる。歴代のソ連の指導者たちの印象を語る場面も興味深い。フルシチョフは「まったく抜け目のない農民」だった、でも彼に最も親しみを覚えたという。女優ではソフィア・ローレンが好きだという。こういった断片の積み重ねで映画は構成

されている。

オリバーの質問は断片的で、何の関連もなく皮相的な内容だが、カストロの回答はそれぞれ関連していて、全体として一つの体系をなしていることがわかってくる。映画に統一性を与えているのは、監督ではなく、カストロの返答である。個々の断片的返答が革命キューバの成立と現代キューバ社会を描き出しているのだ。それがこのドキュメンタリー映画を統一性のある偉大なものにしていく。監督オリバーも注目すべきカストロ像とキューバの現実に触れ、彼なりに理解しそれを生かすように編集したよつである。

(児玉さんは、フィリピンの労働組合と国際連帯を続けている「カサナグの会」の代表。カサナグとは「一条の光」を意味するフィリピン、ヒサヤ地方の言葉です。本人のご好意により、「カサナグの会」のブログより転載させていただきました。また編集上の都合により一部内容を編集・割愛させていただきますことをお詫びいたします。)

★編集後記★

●障害者自立支援法撤廃運動を柱に会員の生活と権利を守る方向性の確立を

植松患樹

4月8日、18回総会は無事終了しました。しかし、支援法、のカベが立ちはだかり、単年度ことの補助金がようやく決まる、という不安定さは変わりません。職員の雇用、会員の不安は増大する

ばかりです。本来、行政の福祉としてやるべきことを、民間に不安定安上がりでやらせて、不当な

介入までもしてくる、というのはどういうつもりなのでしょう。我々は、序数的立場から、一部マスコミの、公務員パッシング、に同調するつもりはありませんが、自らの身分や労働条件のみを考え、民間労働者のおかれた立場など一切考えないというような姿勢では、批判を受けることになるでしょう。しかし、我々は障害者の自立、解放を運動としてやろう、としている訳ですから、泣き事を言っても仕方ありません。どんな悪法があろうと、行政の補助がなくなろうと、運動をやめるわけにはいかないのです。公害、葉書、ハンセン病の人々の長くきびしい戦いとその勝利は、人間として自立し憲法、不正とは断固として戦わなければならないことを、私たちにおしえていきます。権力におもねることなく、戦うことしか活路がきりひらかれないということだと思えます。そのうえで、今後の2〜3年、自由な発想と創意工夫で、会員の生活と権利を守る方策を考え、職員の雇用の安定の2つを考えていくべきだと思います。

●編集を終えて

やっと、発行にこぎつきました。初めての編集作業で、遅れに遅れてしまいました。読者の皆様方に、深くお詫びいたします。今後とも、「ほっと」のご愛読ならびにご支援のほど、よろしくお願いたします。(T・Y)